

キャラクター名  プレイヤー名   
 イストリア

メインクラス	ソーサラー	Lv.1:	メイジ	レベル	12
サポートクラス	アコライト	Lv.1:	セージ	性別	女
称号クラス				年齢	300歳くらい
種族	エルダナーン			境遇	天涯孤独
出自(効果)	学者			目標	命令

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	8	8	27	16	18	9
ボーナス	3	2	2	9	5	6	3
クラス修正	0	1	0	3	1	3	0
他修正							
能力値	3	3	2	12	6	9	3

HP	75
MP	131
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手									
左手									
頭部									
胴部	ガードローブ					9	3	1	-1
補助									
装身具	封精韋編								
能力値			3	0	2	0	9	8	8
スキル									
その他									
総計(右)			3	0					
総計(左)			3	0	2	9	12	9	7
総計(両)			3	0					m
ダイス数		2 d	2 d	2 d					

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	6			6	+ 2 d
エネミー識別	12			12	+ 2 d
アイテム鑑定	12			12	+ 2 d
魔術判定	12			12	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
バックパック	
ベルトポーチ	
望遠鏡	
MPポーション	
ハイMPポーション	

現在重量: 4  
 最大重量: 9  
 所持金: 9905  
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
イモータリティ	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	《トリビアリスト》を取得する							
マジシャンズマイト	5	-	パッシブ	-	自身	自動成功		
効果:	魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。							
コンセントレイション	1		パッシブ		自身	-		
効果:	魔術判定+1D							
ハイウィズダム	3		パッシブ		自身	-		
効果:	【知力】判定の達成値+[SL×2]							
エンサイクロペディア	1	-	セットアップ	-	自身	自動成功		
効果:	エネミー識別							
トリビアリスト	1	6	判定の直前	-	自身	自動成功		
効果:	シーン1回。判定を【知力】で代用							
コンコードダンス	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	「対象：場面（選択）」「射程：視界」のすべての対象にエネミー識別							
ラーニング：トラディション	1	-	メジャー	-	自身	自動成功		
効果:	シナリオ1回。GMに疑問点を直接尋ねることができる							
ホーリーライト	1	6	メジャー	20m	単体	魔術	魔術	
効果:	2Dの貫通ダメージを与える魔法攻撃を行う。対象が「分類：妖魔、魔獣、魔族」で1点でもダメージを与えた場合[威圧]を与える							
ビリーブ	5	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	貫通ダメージを与える魔法攻撃のダメージ+[SL×4]							
ヒール	1	4	メジャー	20m	単体	魔術	魔術	
効果:	対象のHPを[3D+CL×3]点回復							
クイックヒール	1	5	イニシアチブ	-	自身	自動成功		
効果:	シーン1回。《ヒール》を同時に使用可能							
レイズ	1	10	メジャー	20m	単体	魔術	魔術	
効果:	対象の戦闘不能を回復し、【HP】を[2D]点にする。対象は行動済みとなる							
マジックブラスト	1	3	ムーブ	-	自身	自動成功		
効果:	メジャーの魔法の対象を範囲([SL×2])に変更							
リゼントメント	1	-	効果参照	-	自身	自動成功		
効果:	魔法攻撃と同時に使用。その魔法攻撃を「対象：単体※」に変更、ダメージに+[CL×10]							

歴史学者。エリンの歴史のすべてを解き明かすことを夢見ており、長き半生の殆どの時間をその目的に費やしてきた。現在は研究の一環として、ベアトリス枢機卿の下、聖都ディアスロンドの神官を務めている。

……なんでそういうことになったかという、こう。「考えてもご覧になってくださいませ。もし、歴史上の存在でしかない方々——例えばかの伝説の騎士、アロンダイト・ブランド卿と直接話ができるとしたら？あるいは、聖帝ルーシャス・ティベリウス陛下と？ このエリンの歴史の謎の一端を、間違いなくこの手に掴むことができますよ。ましてや、神——そう、この世界を造り、滅ぼし、その全てを見守り続けた天上の神々と直に接することができますとすれば、私、到底我慢ができませんわ。陛下（※陛下ァン）と発音）、どうかどうか、信仰というものをこの不肖の学徒に教えてください。ええ、そのためでしたらこの私、どのようなことでもいたしますわ」

